

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	中国語	
科目基礎情報							
科目番号	0114			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報電子工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	下記, 授業の進め方と授業内容・方法を参照						
担当教員	谷本 圭司,徳永 彩理						
到達目標							
単語数を増やし、基本文型を組み合わせることで、より複雑な文を理解し、表現できるようになること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	到達目標について、必要かつ十分なレベルに到達している。			到達目標について、必要なレベルを越えている。		到達目標について、必要なレベルに到達していない	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 A 2 JABEE f							
教育方法等							
概要	4年生で中国語を学んだ人を対象に授業を行います。既習した基本的な発音や文型を復習しながら、新しい表現を徐々に加えていき、聞く・話すの練習を通じてさらに充実した中国語でのコミュニケーションができるようにします。						
授業の進め方・方法	毎時間の冒頭に前回の復習小テストを行います。毎回、参加者全員に発音する機会を設けるので、指名されたら恥ずかしがらずに声を出してください。その内容を確実に身につけるために、予習復習を必ずしてください。 【テキスト】2年生のコミュニケーション中国語』塚本慶一監修 劉穎著 白水社 その他必要に応じてプリントを配布する。 【辞書】下記に挙げたものにこだわらないで、中日辞典を1冊準備してください。 『中日辞典』(小学館) 『クラウン中国語辞典』(三省堂) 『標準中国語辞典』(白帝社) 『はじめての中国語学習辞典』(朝日出版社)						
注意点	【関連科目】中国語(本科4年) 【評価法】定期試験(60%)、小テスト(10%)、授業の参加態度(30%)を総合して100点とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標			
		1週	第1課	北京に到着			
		2週	第2課	道を尋ねる			
		3週	第3課	買い物			
		4週	第4課	バスに乗る			
		5週	第5課	新しい友達			
		6週	第6課	外食			
		7週	第7課	約束			
	2ndQ	8週	第8課	友達に電話する			
		9週	中間試験	第1回～第8回までの内容			
		10週	中間試験の解答解説 第9課	解答と解説を行う 郵便局			
		11週	第10課	医者に行く			
		12週	第11課	家庭訪問			
		13週	第12課	謝恩会			
		14週	まとめ				
		15週	期末試験	第10回～第14回までの内容			
16週	答案返却など	解答と解説を行う					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	0	20	0	0	100
基礎的能力	70	10	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0